

ともに創る建設の未来。

建設技術展 2025 関東

2025 11.19 WED · 11.20 THU

会場 サンシャインシティ展示ホールC・D(文化会館ビル 2F・3F)

時間 10:00~17:00(最終日は16:00まで)

入場
無料

【建設技術展2025 関東】事業報告書

■ 実施概要

【日 時】2025年11月19日(水) 10:00~17:00

20日(木) 10:00~16:00

【会 場】サンシャインシティ展示ホールC+D(東京都豊島区東池袋3-1-4)

【実施内容】

①企業・団体の展示 計202社・グループ、213ブース

○特別出展：国土交通省関東地方整備局

・採用情報窓口／首都圏広域地方計画推進室／防災室・災害対策マネジメント室

・荒川下流河川事務所／荒川上流河川事務所／荒川調節池工事事務所／二瀬ダム管理所／関東道路メンテナンスセンター／関東技術事務所

②ステージ・プログラム(講演会ほか) ③パネル展示など

【参加者】産・学・官の建設関係者、建設分野を専攻する学生、一般の方々

【参加者数】16,100名(19日:8,500名、20日:7,600名)※入場無料

前回参加者数:15,100名

【オンライン展示会】

サイト公開期間:11月19日(水)から12月26日(金)の間

①企業・団体の紹介ページ

②ステージプログラムの放映 ※11月28日(金)から12月26日(金)の間

オンライン展示会参加者:8,000名 前回参加者7,500名

【プログラム認定】土木学会CPDは19日4.7単位、20日3.9単位。

全国土木施工管理技士会連合会CPDSは各日2ユニット、19日開催の国土交通省関東地方整備局主催「建設技術フォーラム」は別途、3ユニット。

※国土交通省関東地方整備局令和7年度入職技術者の研修プログラム

【主催】日刊建設工業新聞社

【共催】東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、公益財団法人河川財団、公益財団法人日本下水道新技術機構、一般財団法人日本ダム協会、一般財団法人先端建設技術センター、一般財団法人国土技術研究センター、一般社団法人公共建築協会、一般財団法人建築コスト管理システム研究所、一般社団法人全日本建設技術協会、一般財団法人建設業振興基金、一般財団法人日本建設情報総合センター、一般財団法人経済調査会、一般財団法人建設物価調査会、一般財団法人建築保全センター、一般社団法人日本建設業連合会関東支部、一般社団法人全国建設業協会、一般社団法人日本道路建設業協会関東支部、一般社団法人東京建設業協会、一般社団法人日本埋立浚渫協会、一般社団法人日本橋梁建設協会、公益社団法人土木学会関東支部、一般社団法人建設コンサルタンツ協会関東支部、公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、一般社団法人日本建設機械施工協会、一般社団法人関東地質調査業協会、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会、一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関東支部、一般社団法人関東地域づくり協会、一般社団法人茨城県建設業協会、一般社団法人栃木県建設業協会、一般社団法人群馬県建設業協会、一般社団法人埼玉県建設業協会、一般社団法人千葉県建設業協会、一般社団法人神奈川県建設業協会、一般社団法人山梨県建設業協会、一般社団法人長野県建設業協会

【後援】国土交通省関東地方整備局、東京都、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、長野県、山梨県、横浜市、川崎市、相模原市、千葉市、さいたま市、独立行政法人水資源機構、公益社団法人日本道路協会、一般財団法人建設業技術者センター、一般社団法人国際建設技術協会、一般社団法人技術同友会

【アドバイザーボード】

事業の公平性、公共性を保つための意見をいただくとともに、方向性を検証していただいています。

谷口博昭氏(建設業技術者センター顧問、芝浦工業大学客員教授)

三輪準二氏(土木学会専務理事)

大野昌仁氏(日本建設業連合会常務執行役)

村岡 猛氏(日本埋立浚渫協会専務理事)

新井恭子氏(建設ディレクター協会理事長)

木下誠也氏(社会基盤マネジメント研究所代表理事)

田中克直氏(国土交通省関東地方整備局企画部長)

<会場図 展示ホールC・D>



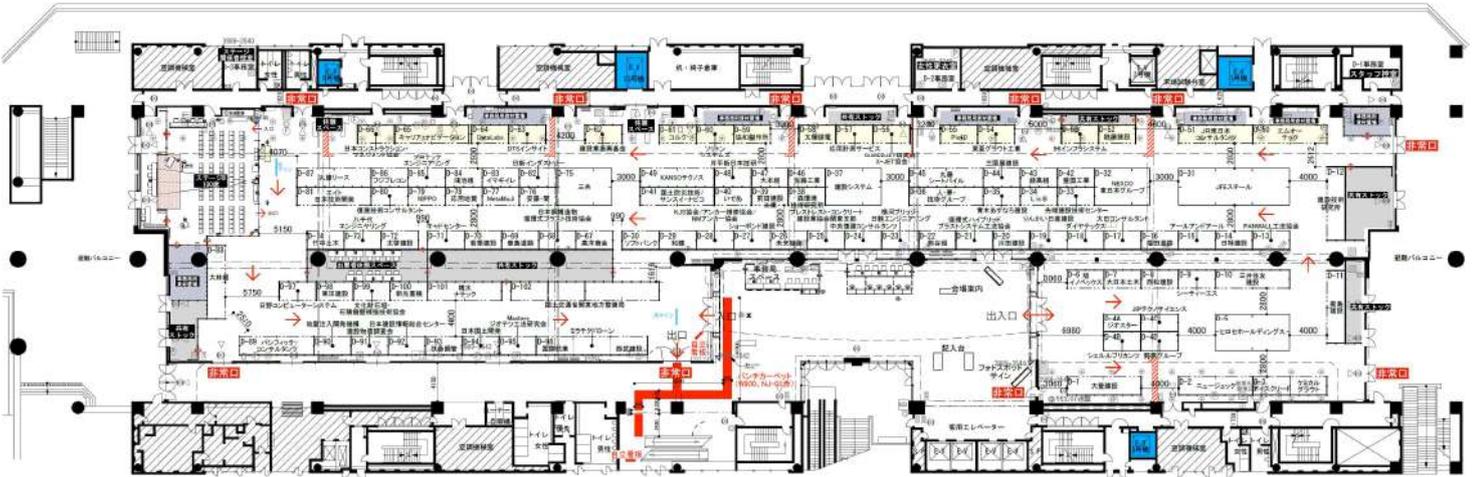
展示ホールD：文化会館ビル2F

面積：3,341㎡ (1,011坪)
 天井高：3.0m (一部2.6m)
 会場照明：900LUX
 床荷重：平均300kg/㎡

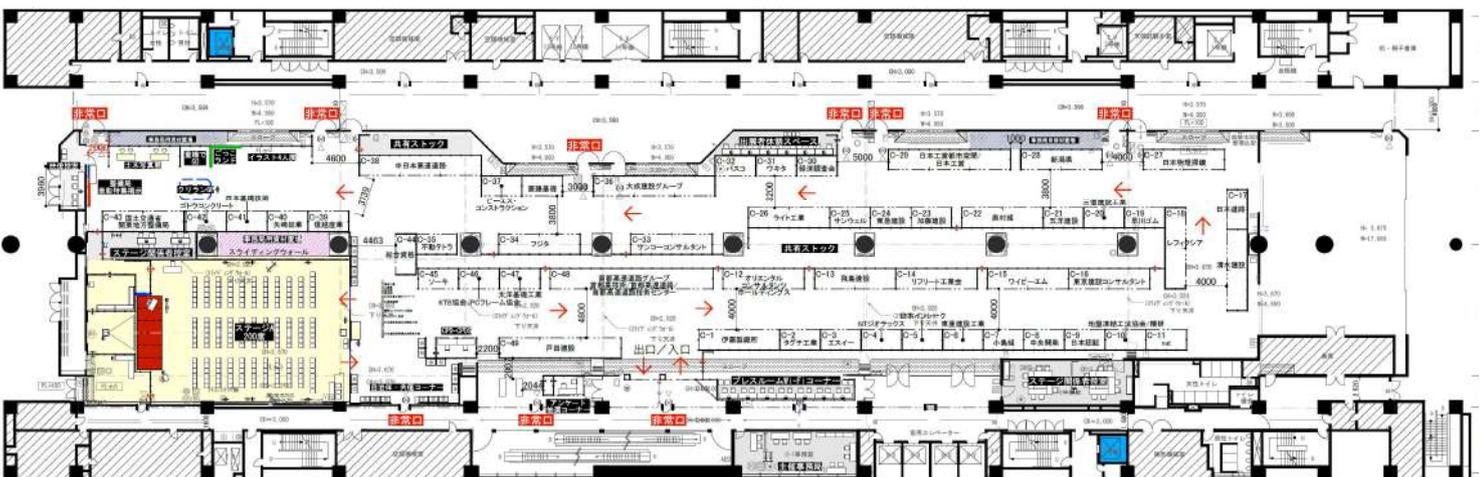
展示ホールC：文化会館ビル3F

面積：2,860㎡ (865坪)
 天井高：3.67m (一部3.0m)
 会場照明：900LUX
 床荷重：平均500kg/㎡

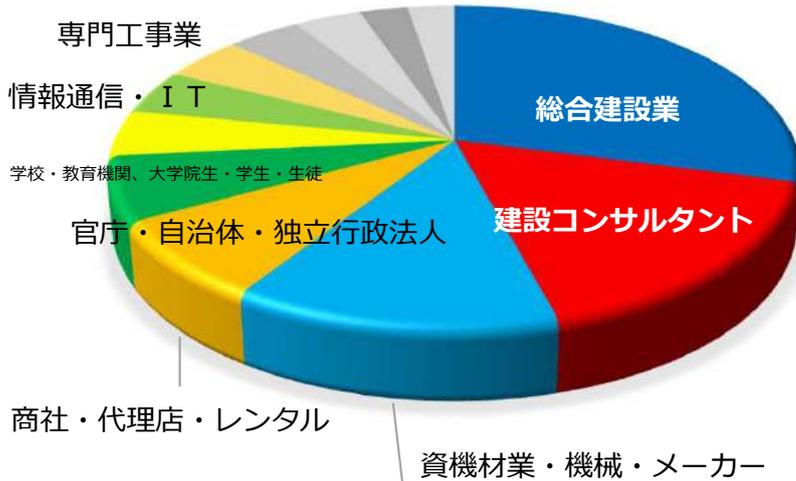
<展示ホールD 会場レイアウト>



<展示ホールC 会場レイアウト>

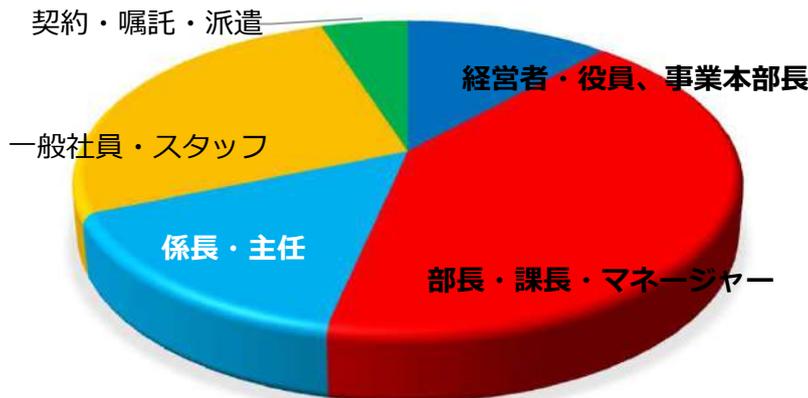


属性① 業種



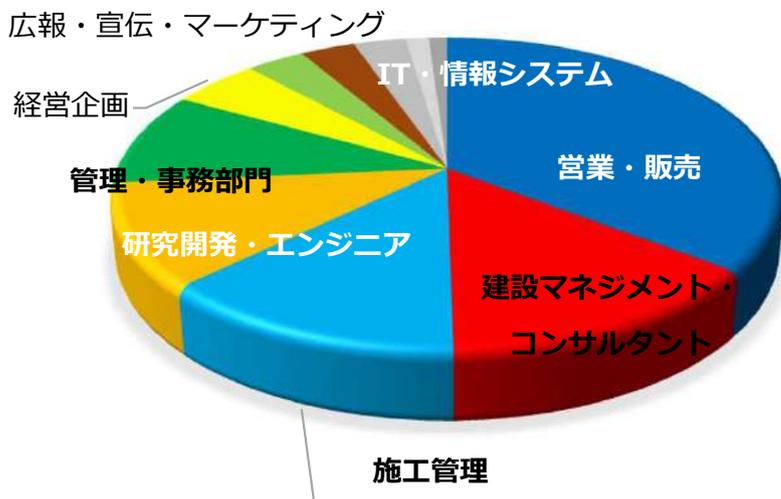
総合建設業	27.9%
建設コンサルタント	16.0%
資機材業・機械・メーカー	12.7%
商社・代理店・レンタル	7.6%
官庁・自治体・独立行政法人	6.2%
学校・教育機関、大学院生・学生・生徒	4.4%
情報通信・IT	4.3%
専門工事業	4.2%
一般	3.9%
道路・交通・エネルギー事業	3.6%
協会・団体	2.6%
コンサルタント・シンクタンク	2.5%

属性② 役職



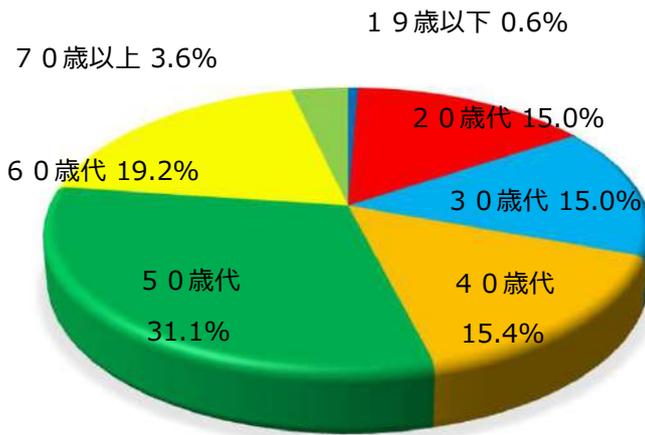
経営者・役員、事業本部長	11.6%
部長・課長・マネージャー	41.7%
係長・主任	15.3%
一般社員・スタッフ	26.4%
契約・嘱託・派遣	4.9%

属性③ 職種

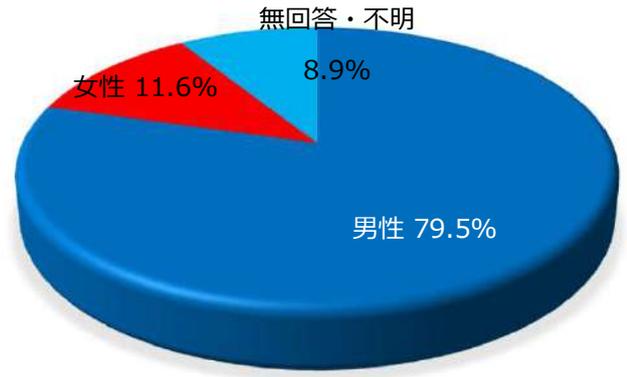


営業・販売	30.3%
建設マネジメント・コンサルタント	12.1%
施工簡易	11.1%
研究開発・エンジニア	9.2%
管理・事務部門	8.2%
経営企画	4.3%
広報・宣伝・マーケティング	2.9%
IT・情報システム	2.7%
建築設計・デザイン	2.5%
施工現場	1.1%
生産・製造	0.9%

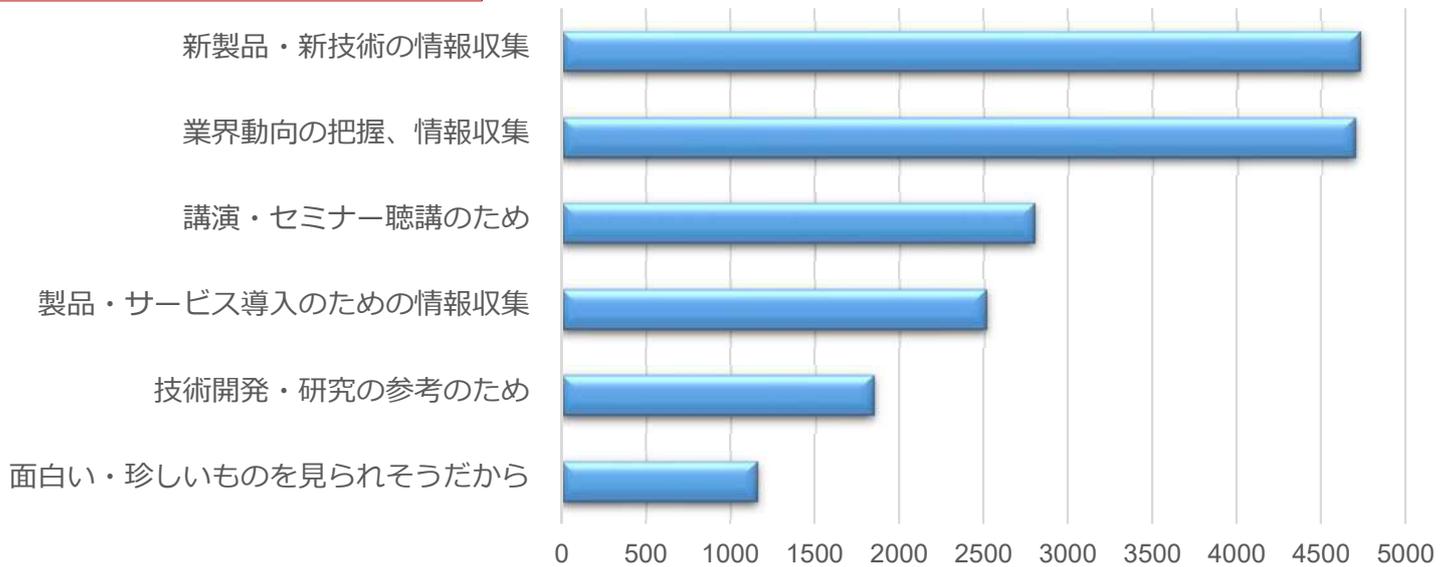
属性④ 年代



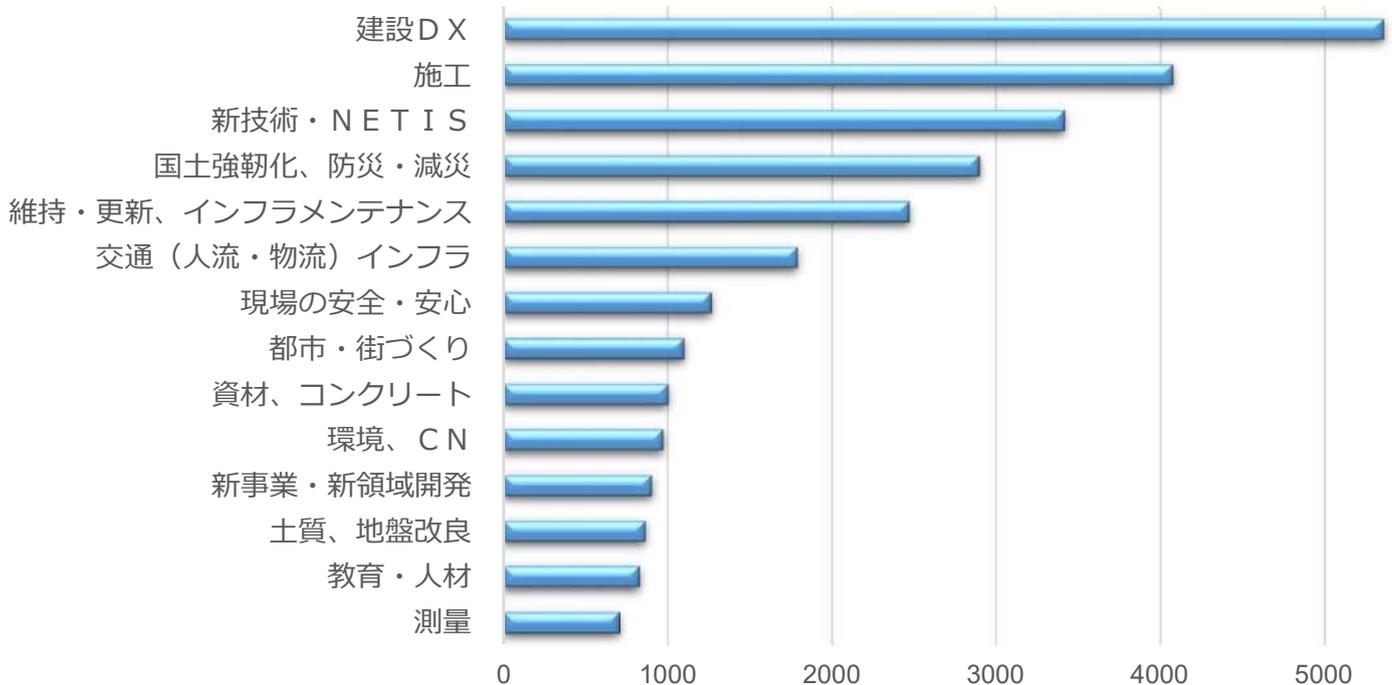
属性⑤ 性別



参加目的 (複数回答)

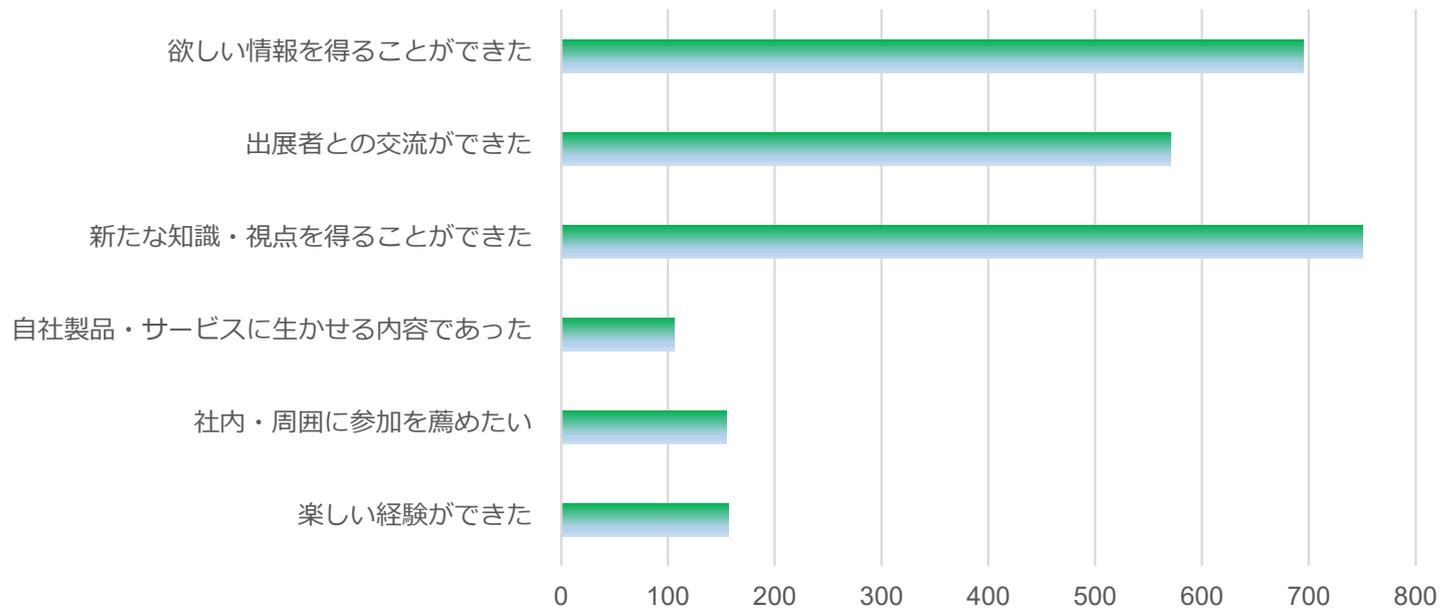


注目している分野 (複数回答)



参加者アンケートから

参加の成果



参加者の声 ①

- 最新技術をたくさん知ることができてよかった。
- 新しい製品が多くあり、いろいろと興味が深まった。
- みなさん熱心にプレゼンしてくれました。少しでも皆さんの技術が活用できようプロジェクトを作っていきます。
- ジオラマを用いた展示が、説明も聞きやすく興味深く聞いた。
- 施工の省人化省力化にどの会社も力を入れていて興味深かった。
- それぞれのブースがコンパクトで見やすかった。コンパクトなためフレンドリーに話を聞くことができた。また遠隔操作を体験できた。
- とても多い展示プログラムがあり、それらが一堂にそろったこと自体がとても大きな価値だと感じました。特にシミュレーション関係はゲーム感覚なので、誰にでも親しみやすく効果的だと思います。
- 体験型ブースは面白かった。
- ノベルティが面白かった。
- VRを使った技術はやはり面白いし将来性発展性を強く感じる。
- 現在の仕事に直結する展示はなかったが、新しい発見もあり楽しめた。
- 建設の現場での話が聞けてよかった。
- 大手企業でDX化、効率化がすすんでいて見ていておもしろかったです。発想だけでも参考になる。
- 各ゼネコンの取組を学ぶ事ができた。
- あると便利だと思っていたものを製品化していた。製品化の企業努力がすごいと思った。
- 各社の独自開発技術の紹介が役立った。
- 各社工夫を凝らした出展の工夫がされていて様々な情報を入手できた。
- 各社似たような技術でも少し違っていて比較が面白かった。
- 技術の進歩でより小型により性能アップされており驚くばかりであった。
- 3次元CADを用いたものに特に興味をもった。2次元CADは日常的に使っているが、これからは3次元も増えるのではないかと。
- AI, IoT, GISを活用した風土や環境の管理、保全、インフラの維持管理、災害対策に向けたサービスに非常に興味を持った。
- DX AIに関する情報が多いが、類似技術の優劣を判断するのが大変。
- DX関係の提示が多く参考になった。
- IC機械を実際に操作できる体験が良かった。
- インフラについて技術、点検技術が生かせるものを見聞できた。
- インフラ維持管理分野が特に印象に残りました。点検業務におけるAI画像解析や3D点群データの自動処理は精度向上だけでなく、作業負荷の軽減にも直結しており、現場での運用性を想像しやすい内容でした。また、災害時の事例紹介は現場対応の優先順位を考える上で視野が広がりました。

参加者の声 ②

- 自社の業務と関係が薄い展示が多く、全体像把握には有益であったが、期待していた水中ドローンに有用なものが見当たらず、残念だった。ただし、業界の動向を知ることができ、また、建設業全体の情熱を感じられ、良い刺激になった。
- 新しい知見を得ることができ有意義だった。建設DX関連について新しい技術について確認することができた。発注者側の新しい取組についても確認することができた。
- 各企業の新技術について、最新の動向を確認し、有意義な議論ができました。特にシールド工法の係る技術推進するにあたり自動化技術など他社から参考となる情報を得ることができました。
- 毎年色々な会社の技術に出会うことができ、毎年楽しみにしています、今年も盛りだくさんの内容で勉強になりました。業務に生かせる内容もたくさんあり、一日で大量な会社の情報も手に入るの、その情報を元に業務の効率化につながりそうです。
- 建設業界の取りまく環境や問題等再確認することができた。また問題解決に対する取り組みに各企業の努力を今回見ることができ、この業界の未来は明るいと確信できた。今後もいろんな課題や問題ができると思いますが、産官民で乗り越えていきたい。
- 最新の技術やトレンドに触れることができました。特に環境に配慮した材料やスマート施工技術の展示が印象的でした。業界のニーズや本来の方向性を学ぶ良い機会となり、新たな技術を学びました。ビジネスの新しいチャンスを見つけることも出来たらことも収穫です。
- 最新の技術を確認することができて勉強になりました。毎年新しい情報を得ることができとても参考になります。
- 専門分野以外の領域について様々な意見や技術を知ることができ、視野が広がった。この情報を自分の専門分野に展開して業界の発展に貢献したいと思う。
- 最先端の技術であるICTやAI、ドローンなどの活用による施工の効率化や安全性の向上の取り組みを学ぶことができた。業務に最先端の技術がすぐに取り入れられることはないが今後も新しい技術を見据えながら建設業界に貢献したい。
- 各社の最新の取り組みをはじめ、防災減災に関する事項について特に注目をした。またBIM/CIM等DXを活用した技術について幅広く知見を得ることができた。
- 競合他社の展示を見て興味が有った技術に関して担当者から詳細を聞き取ることが出来て良かった。特にロボテックスに関する情報は紙媒体やインターネットでは得られない。詳細がわかった。
- 多くの企画が参加しており最新の技術を知ることができた。
- 色々な分野の展示があり自分の分野にも応用できるのではないかと感じた。現在のトレンドがわかるので今後の技術開発の参考になった。
- 様々な企業の新技術の展示を拝見し、新たな知見を得られたが、自分の業務に生かすべくこれから資料の整理をし、まとめていきたい。
- 最新技術の動向を把握することができた。
- 大企業のみだけでなく、中小企業の優れた技術力を目の当たりにした。
- 各社各業務の最先端技術を学び新たな知識を得ることができました。自動施工技術に関してが、熟練技能者が人手不足の中で必要な技術であり、DX化に向けて確実に進んでいることを感じた。
- 昨今の道路インフラの劣化にともない必要な点検技術や補修技術、高耐久資材の開発など必要な知識を得ることができ、非常に有意義な展示会であった。とくに、災害の迅速な対応がもとめられた時の輸送に有効なEVバイクが非常に興味を持った。またこの展示会に参加したい。
- 企業の展示を通して、建設DXに大変力を入れていることがよくわかった。点群データ、3Dモデル、それら大容量データの一元管理方法などの展示が多く、また関東地方整備局も推進していることがよく理解でき、今後の建設業の動向がわかった。
- 多面的な講演から、体験型デモンストレーションまで多岐にわたり、最新の動向や未来の展望を深く理解できました。
- 展示ブースは最新技術の実機展示が充実しており非常に刺激的だった。省力化やICT施工の新たな可能性を感じられる。現場改善のヒントが多く得られる展示だった。
- 最新の建設技術を間近で体感でき、現場の効率化や安全性向上へのヒントを得ることができました。各企業の実演も充実しており、今後の業務に生かせる展示会だったと感じた。
- 各団体における取組の背景と対応を確認する事ができ、とても勉強になった。
- 展示ブースは、施工合理化やデジタル化を支える技術が網羅されており見応えがあった。実機の操作感や性能を直接確認でき導入効果を具体的に評価できる貴重な場だった。

参加者の声 ③

- ・ 業務に生かせる最新技術を習得することができた。近年、建設技術は目覚ましい新進化があるため、定期的に最新の技術動向を把握しなければならない。また、専門分野以外のことについても社内で情報共有することにより、技術の推進がはかれるものと感じて今後も同様の展示会を開催してほしい。
- ・ 各社の最新技術を知った。全体的に3Dやデジタルツインの多い印象があった。最近のトレンドも学べてよかった。ゼネコン・建設コンサルタントの他、異業種も多くあり、多分野で土木業界と盛り上げているように感じた。
- ・ 各社が展示している技術はどれも素晴らしいものであり、特に同業他社の展示ブースは勉強になりました。維持管理に係る技術も勉強になりました。
- ・ 各社新しい技術へ取り組んでいるがすぐに現場で活用できる段階のものではなく、コスト的に二ーズ的に課題の残るものが多いと感じた。他社に遅れているところも二ーズを読んで現場の役立つ技術を模索していきたいと思います。
- ・ 最新の技術動向や現場での活用事例などを直接学べたことが大きな収穫でした。特にICT施工や環境配慮型技術の展示は実務の応用うい強く意識させられました。
- ・ BIM/CIMやIT技術に関する技術説明会は全国で多数実施されているが建設会社、建設系コンサルタントが多く出展している建設技術展は技術がすぐ見られる。内容がわかりやすいため非常に良い。特に、港湾系建設会社がたくさん出展され技術者との面談も有意義であった。
- ・ 新しい技術や他社との交流ができることは業務を行なっていくために必要なことなのでこのイベントに参加することはとても有意義と感じた。講義の内容も自治体の方の話を伺う機会が少ないのでとても良かった。
- ・ 毎年参加をしている。各社とも注目製品を展示しているのでイノベーションの変化を感じている。従来品でも良い製品工法はあるのでそれらも少しでいいので展示して貰えると助かる。
- ・ 建設業における取り組みや各企業の技術開発を知る良い機会であり、インフラ事業の重要性や必要性がよくわかった。計画から実施し、維持管理のサイクルを知ることが出来た。
- ・ 展示されている製品、機械等どれも素晴らしかったです。仕事では関わらないような製品もありますがとても勉強になりました。これからも色々な製品について勉強できるよう展示会等に参加したいと思います。
- ・ 毎年各社技術開発が進んでいる。近年の発注方式、SI施工やECI方式を見ての通り技術無くして受注が難しい状況となってきていることを改めて感じた。波及性のある技術による生産性向上こそ、官側は求めているが、開発競争の激化にもつながっていると感じた。
- ・ 建設業への理解を深めることができた。建設業で働く人たちの数が減り続ける現在においてはいかに効率よく作業するかが極めて重要であり。そのためにICT技術施工を始めとした多くの先進技術を学べる事ができた。今後もこのような機会先進技術や新製品等の情報を取り入れ、作業の効率化、省人化を図ってきたい。
- ・ 民間企画だけではなく今年は国交省や自治体がブースを設け、職員が複数名参加していたので良かった。また、学生の団体行動の後、フリーで活動するのは有効なカリキュラムと思われる。
- ・ 自分の現場でもつり足場を使っているけど、新型システムつり足場を初めて見られました。この技術のおかげで時間を節約できるし、安全性も結構アップできることを感じました。今後、自分の現場でもこの技術を活かせるようにする。
- ・ 得た知見を基に業務効率化や品質向上を推進していきたく。本展示会で紹介されたAI、IOT技術や省エネ設備においては建設現場の効率化に貢献する技術なので活用方法を検討していきたいと考えています。
- ・ ゼネコン・コンサル関係なくさまざまなデータを収集・蓄積し、活用して事業分野を拡大していくことがKEYPOINTになると考えます。土木とITスキルの両方を兼ね備えた人材育成が求められると思いました。
- ・ 各社の施工自動化への取り組みについて情報を収集できた。
- ・ 現在取り組んでいる現場でのサポートできる部分を補っていけるシステムなどを見つける事ができました。弊社でもこのシステムの導入を検討するよう持ち帰りたいと思います。
- ・ 各ブースを見て様々な展示に今後社内展開できるところは行なっていきたいと思った。ICT関係に更に興味が湧き、参考にしたいところがある。
- ・ 各社のDX技術への取り組みが参考になった。自社の商品開発や業務に上げられる知見が得られた。今後の展開に大きな希望が持て有意義があった。
- ・ 様々なジャンルの企業団体展示を見ることができ、とても勉強になった。今後の業務で活用できそうな内容のものも多くあったので困った時に相談できる繋がりも作ることができて良かった。なかなか他社の技術を知る機会はないのでまた来年も参加したいと思います。。

参加者の声 ④

- ゼネコン各社の最新技術の方向性を確認することができた。また、NEXCO各社及び国交省の取組みが紹介されており、発注者側の視点も確認することができた。要素技術や測量機器メーカーの出展は少なかったが、会場もコンパクトでブースの話聞くには良い環境であった自身が研究開発で触れてきた技術について他社はどのようなことをしているのか相違点などを知れて勉強になりました。
- 自動化施工技術は作業効率向上や人手不足解消に大きく寄与する一方、現場への導入や運用面での課題も感じました。
- 各ブースでの商品の展示やカタログ配布にて業務で使用している資材より便利そうなものがあり、施工材料でコストが合えば使用したい。
- 企業担当者に直接聞くことができよかったです。
- 水門の仕組みがわかった。
- 今後IT化社会の進化に伴い効率、有効性の高い熊対策に関する防御システムが必要になるのでは？
- 出展者としても情報交換できた。
- 出展側としても勉強になった。



■ 開会式

【日時】11月19日（水） 9：30

【会場】受付スペース（Dホール）

【進行】

主催者挨拶 日刊建設工業新聞社代表取締役社長 高橋治光

来賓挨拶 廣瀬昌由 氏（国土交通省技監）

開会宣言 谷口博昭 氏（建設技術展アドバイザリーボード座長）

テープカット

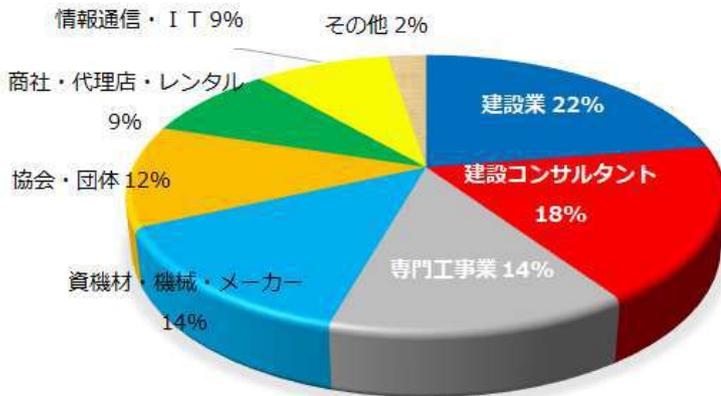
（ご登壇予定者）

1. 廣瀬昌由 氏（国土交通省技監）
2. 橋本雅道 氏（国土交通省関東地方整備局長）
3. 谷口博昭 氏（建設業技術者センター顧問、芝浦工業大学客員教授、アドバイザリーボード座長）
4. 佐藤直良 氏（建設業技術者センター理事長、注目技術賞審査委員長）
5. 谷崎馨一 氏（東京都技監）
6. 三輪準二 氏（土木学会専務理事）
7. 大野昌仁 氏（日本建設業連合会常務執行役）
8. 新井恭子 氏（建設ディレクター協会理事長）
9. 木下誠也 氏（社会基盤マネジメント研究所代表理事）
10. 須田久美子 氏（建設産業女性定着支援ネットワーク幹事長）
11. 安井 南 氏（俳優、ミス日本2024「水の天使」、CREATIVE LAB社メディアパブリシスト）

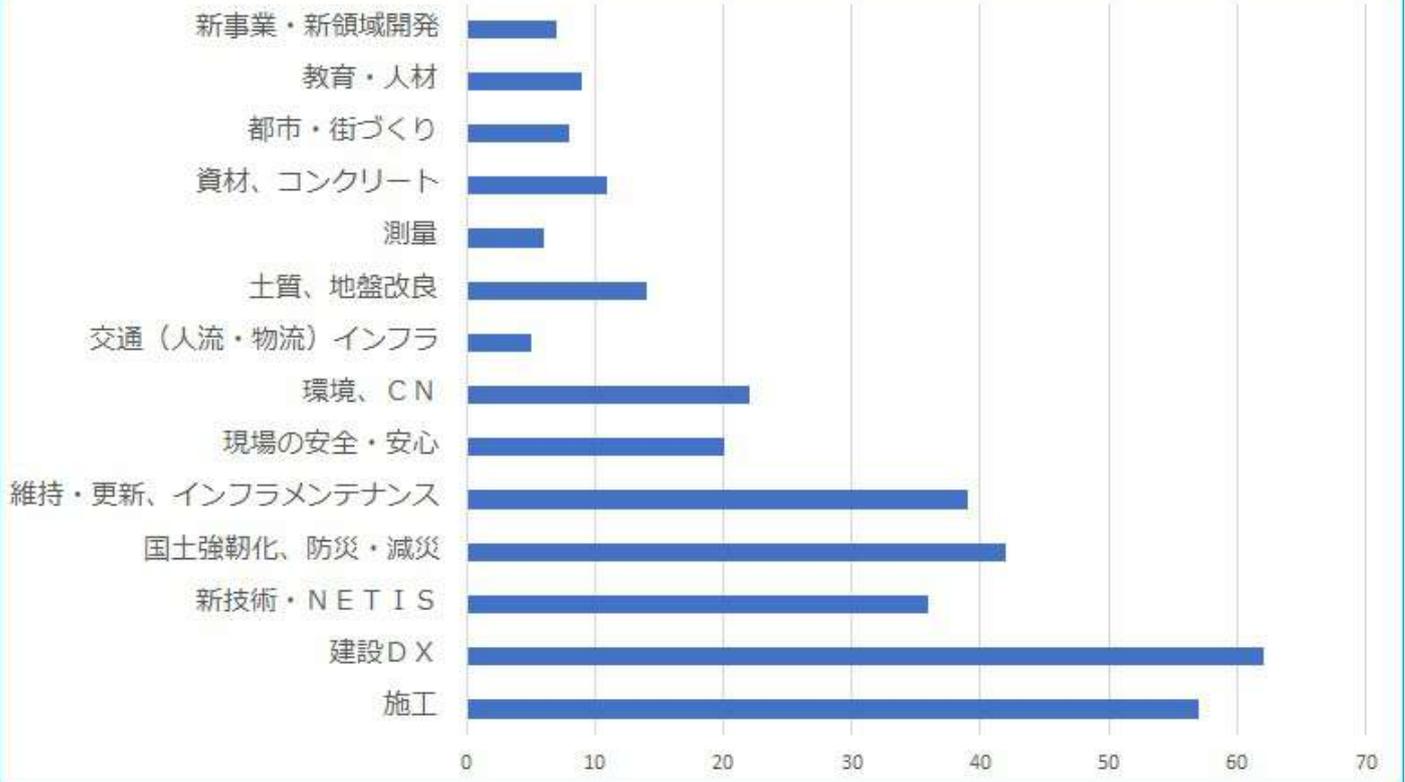


出展者の属性

■ 業種



■ 分野



※業種のその他は、NEXCO東日本、NEXCO中日本、首都高速道路、新潟県
 ※分野は、提示した14分野から出展者が3つ選択したものを集計

■ 企業・団体の展示 ②

【2階Dホール 五十音順】

アールアンドアール、IHIインフラシステム、青木あすなろ建設、旭イノベックス、安藤ハザマ、いであ、イマギイレ、エイト日本技術開発、エムオーテック、L is B、応用計測サービス、応用地質、大林組、大本組、鹿島建設、鹿島道路、片平新日本技研、川田建設、KANSOテクノス、キャドセンター、キャリア・ナビゲーション、協和製作所、熊谷組、KJS協会/アンカー補修協会/NMアンカー協会、ケミカルグラウト/新地盤凍結工法 ICECRETE協会、建設技術研究所、建設業振興基金、建設システム、建設物価調査会、鴻池組、高洋商会、国際航業、国土防災技術/サンスイ・ナビコ、コルク、佐藤工業、三共、シーティーエス、J R東日本コンサルタンツ、J F Eグループ(JFEスチール、JFE建材、ジェコス、JFEエンジニアリング、JFEシビル、JFE鋼板、JFE商事テールワン、JFEフォーミング)、シェルブルリカンツ ジャパン、ジオスター、J I Pテクノサイエンス、地盤注入開発機構、循環式ハイブリッドブラストシステム工法協会、ショーボンド建設、新光重機、SUPERJET研究会/X-JET協会、西武建設、銭高組、先端建設技術センター、ソフトバンク、ソリトンシステムズ、太啓建設、大日コンサルタント、大日本土木、大豊建設、ダイヤテックス、太陽誘電、竹中土木、中央復建コンサルタンツ、D T Sインサイト、DataLabs、鉄建建設、東亜グラウト工業、東洋建設、西松建設、日新インダストリー、日特建設、N I P P O、日本建設情報総合センター、JSCB日本鋼構造物循環式ブラスト技術協会、日本国土開発、日本コンストラクション・マネジメント協会、ニュージェック、NEXCO東日本グループ(NEXCO東日本 関東支社/ネクスコ東日本イノベーション&コミュニケーションズ)、野原グループ、パシフィックコンサルタンツ、P A N W A L L工法協会、韓水ナテック/世紀東急工業、Pix4D、人・夢・技術グループ、日野コンピューターシステム、ヒロセグループ(ヒロセ、成幸利根、産業リーシング)、福田道路、フジプレコン、扶桑鋼管、復建技術コンサルタント、プレストレスト・コンクリート建設業協会関東支部、プロテックエンジニアリング、文化財石垣・石積擁壁補強技術協会、豊国工業、前田建設工業、Masters ジオテツ工法研究会、丸建リース、マルケンテックジャパン、丸藤シートパイル、三国屋建設、三井住友建設、未来樹脂、ミラテクドローン、MetaMoJi、森環境技術研究所、八千代エンジニアリング、横河ブリッジ/日軽エンジニアリング、日軽エンジニアリング、りんかい日産建設、若築建設、和建

国土交通省関東地方整備局

・荒川下流河川事務所／荒川上流河川事務所／荒川調節池工事事務所／二瀬ダム管理所／関東道路メンテナンスセンター／関東技術事務所



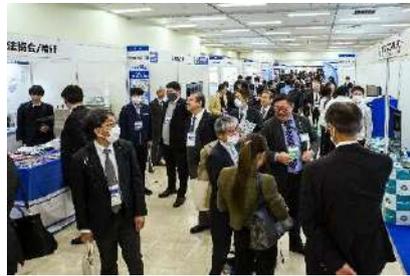
■ 企業・団体の展示 ③

【3階Cホール 五十音順】

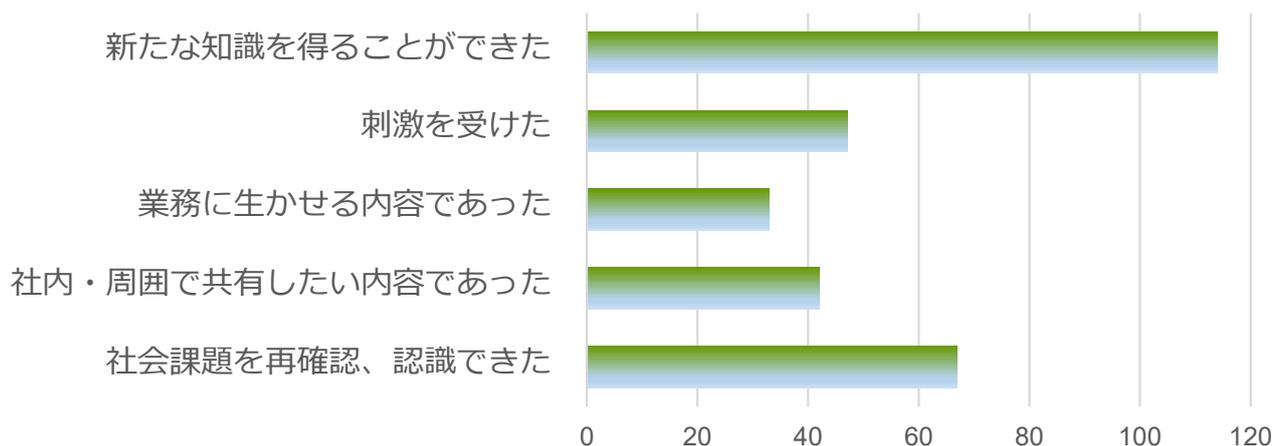
伊藤製鐵所、エスイー、NTジオテックス、奥村組、オリエンタルコンサルタンツHD、加藤建設、経済調査会、KTB協会/PCフレーム協会、小島組、ゴトウコンクリート、五洋建設、サンウェル、サンコーコンサルタント、三信建設工業、JIPテクノサイエンス、地盤凍結工法協会/精研、清水建設、首都高速道路、首都高速道路技術センター、首都高技術、信越産業、総合資格、ソーキ、大成建設グループ、太洋基礎工業、タグチ工業、中央開発、東亜建設工業、東急建設、東京建設コンサルタント、戸田建設、飛島ホールディングス(飛島建設、テクアノーツ、極東開発)、nat、Made in 新潟 新技術(新潟県、水倉組、高橋土建、明和工業、第一建設工業)、日本道路、日本インシーク、日本基礎技術、日本工営、日本工営都市空間、日本認証、日本物理探鑛、NEXCO中日本、パスコ、早川ゴム、ピーエス・コンストラクション、フジタ、不動テトラ、矢崎総業、ライト工業、リフリート工業会(太平洋マテリアル、太平洋セメント、太平洋コンサルタント)、菱建基礎、レフィクシア、ワイビーエム、ワキタグループ

国土交通省関東地方整備局

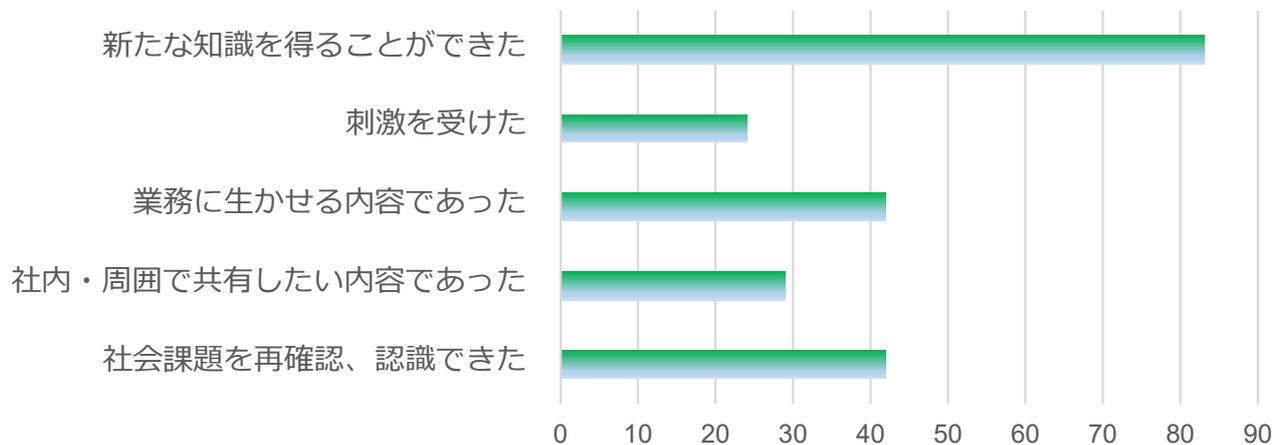
- ・採用情報窓口／首都圏広域地方計画推進室／防災室・災害対策マネジメント室



10:30 基調講演「国土交通省のインフラDXの取り組み」 廣瀬昌由氏（国土交通省技監）
聴講者：280名



11:30 講演「NEXCO中日本における技術推進の取り組み」
村田啓氏（中日本高速道路執行役員技術本部長）
聴講者：160名



13:30 国土交通省関東地方整備局主催

「建設技術フォーラム 強靱な国土が私たちの暮らしを守る」

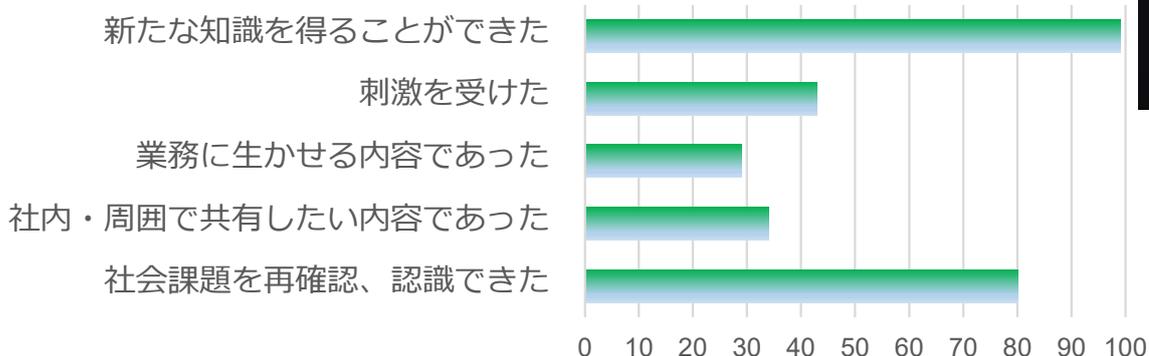
聴講者：延べ570名

■ 開会挨拶 橋本雅道氏（国土交通省関東地方整備局長）



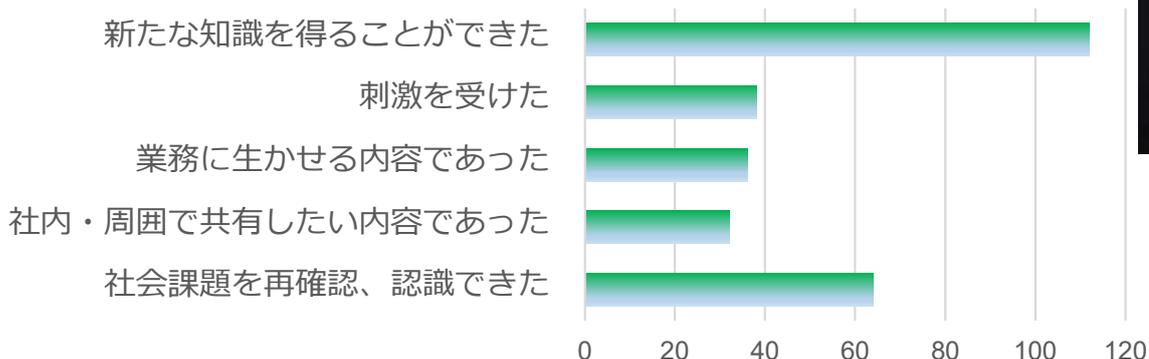
■ 基調講演「未来を守る国土の強靱化」

田中克直氏（国土交通省関東地方整備局企画部長）

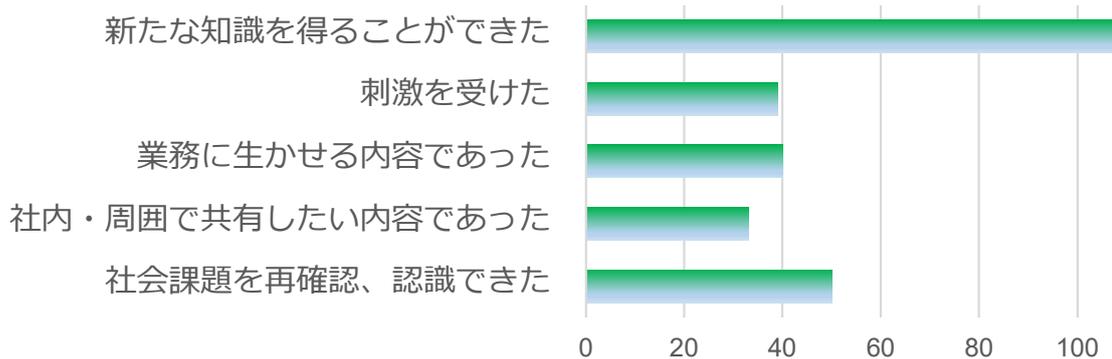


■ 講演「荒川の流域治水と荒川調節池群の整備について～荒川第二・第三調節池を事例に～」

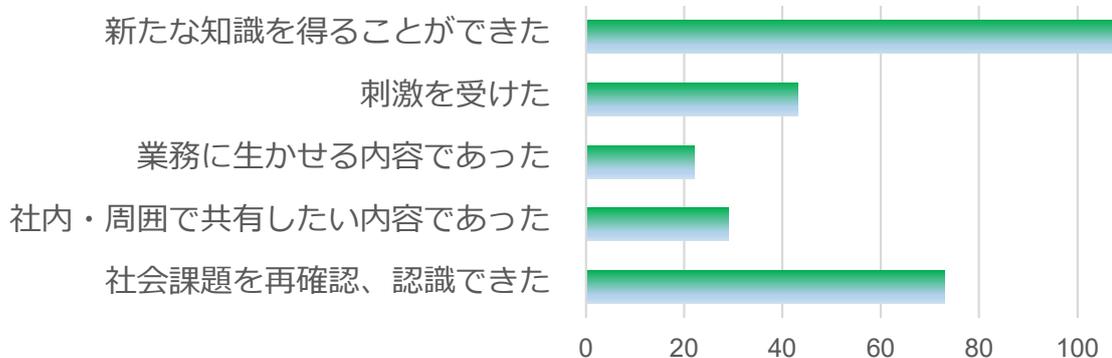
米沢拓繁氏（荒川調節池工事事務所事務所長）



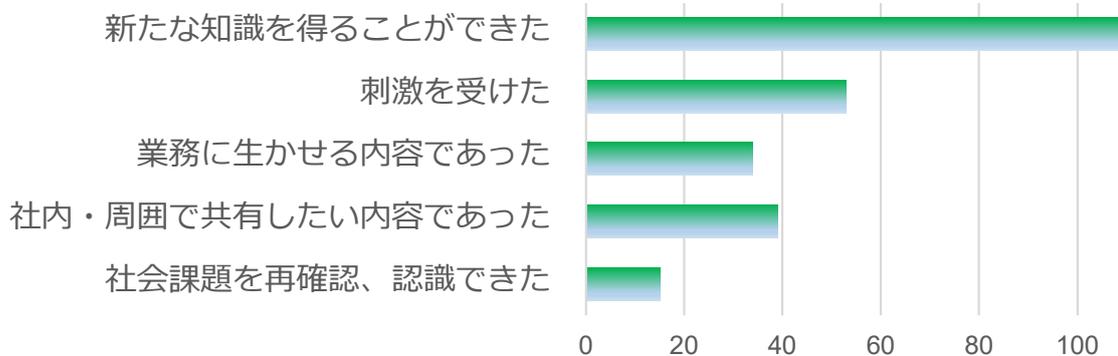
■ 講演「道路メンテナンスの高度化と自治体支援」
小川渉氏（関東道路メンテナンスセンター センター長）



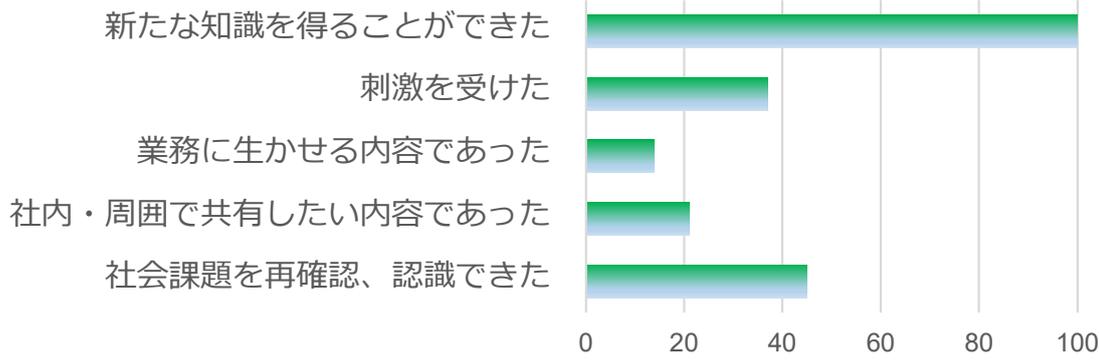
■ 講演「上下水道施設の戦略的な維持管理・更新に向けた取組み」
三好健次氏（河川部上下水道調整官）



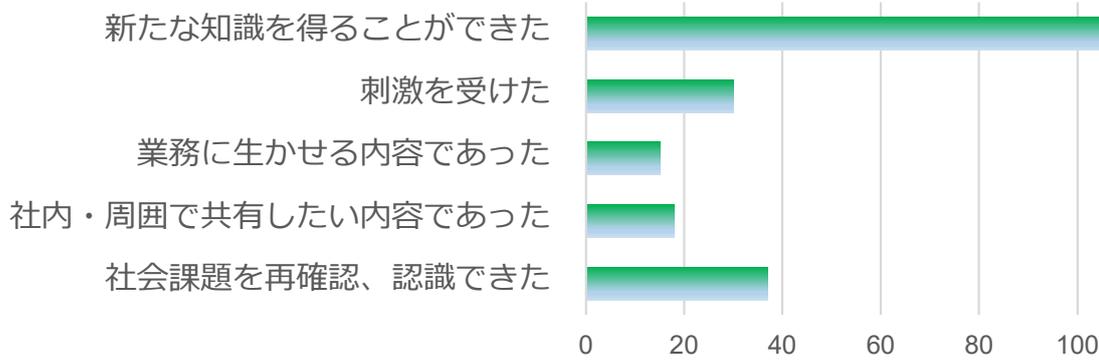
■ 講演「道路ネットワークの機能強化」
小澤知幸氏（道路部道路企画官）



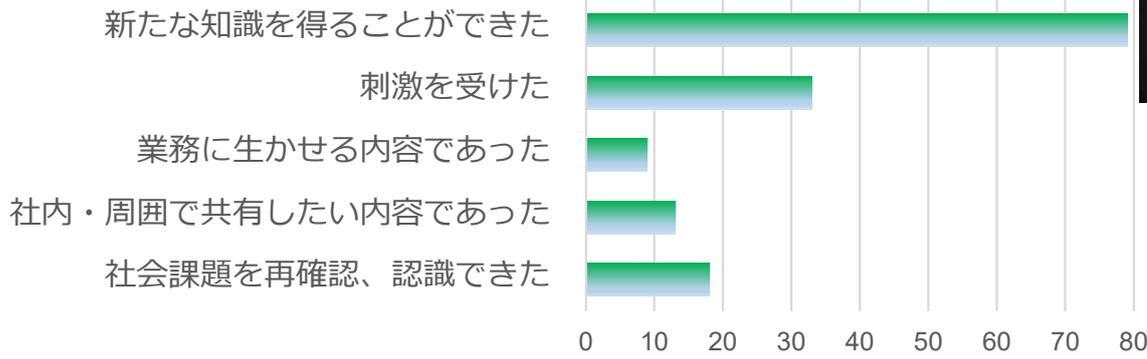
■ 講演「国営東京臨海広域防災公園の役割～首都直下地震における防災拠点など～」
辻野恒一氏（国営昭和記念公園事務所事務所長）



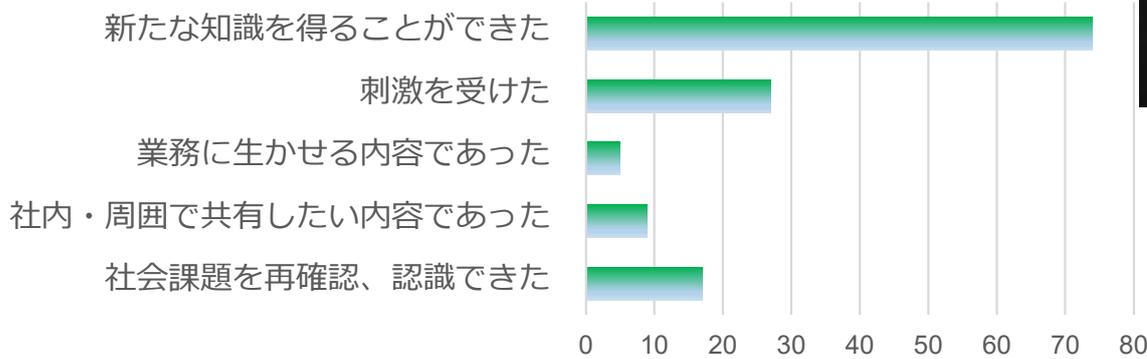
■ 講演「羽田空港の防災・減災」
温品清司氏（東京空港整備事務所事務所長）



■ 研究発表「広域国営公園の植生・施設管理業務支援を目的とした計測・判定プロセスの自動化」
桑原祐史氏（茨城大学大学院教授）

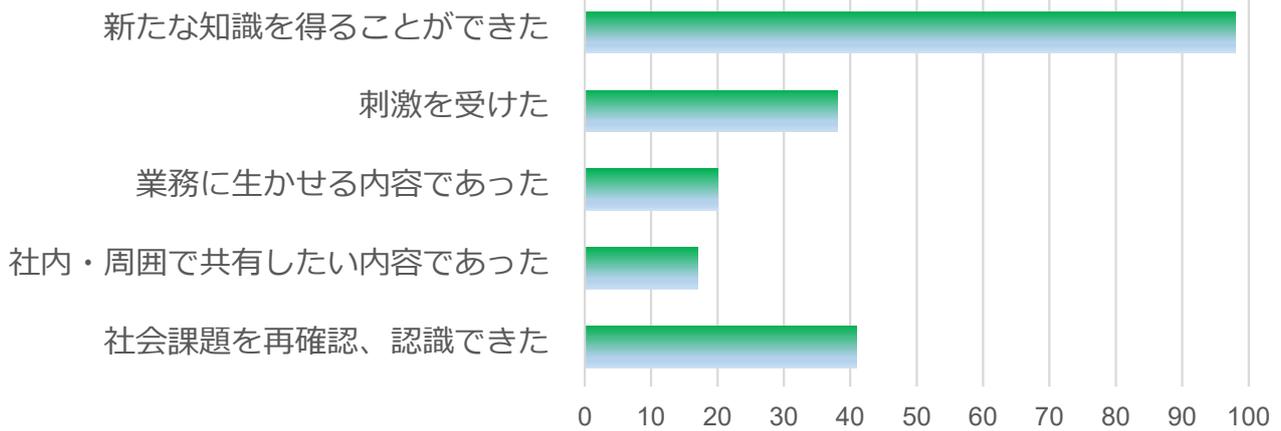


■ 研究発表「不要な植物のみを検出・識別して除去可能な選択的除草ロボットシステム開発の技術研究」
中村明生氏（東京電機大学教授）



10:30 講演「首都東京の都市づくり」 三宮隆氏（東京都都市整備局理事）

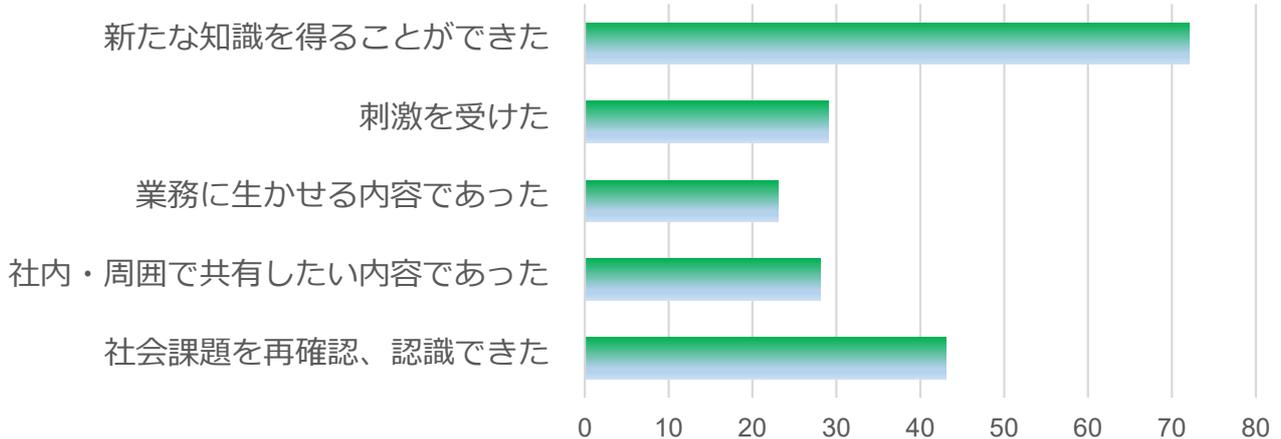
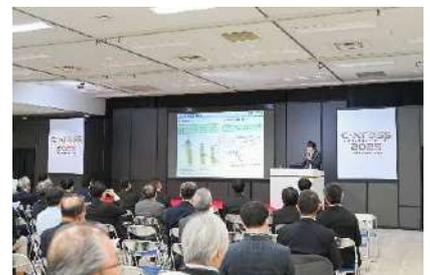
聴講者：130名



11:30 講演「改正建設業法に基づく「労務費の基準」制度について」

石井信氏（国土交通省不動産・建設経済局建設振興課長補佐）

聴講者：110名



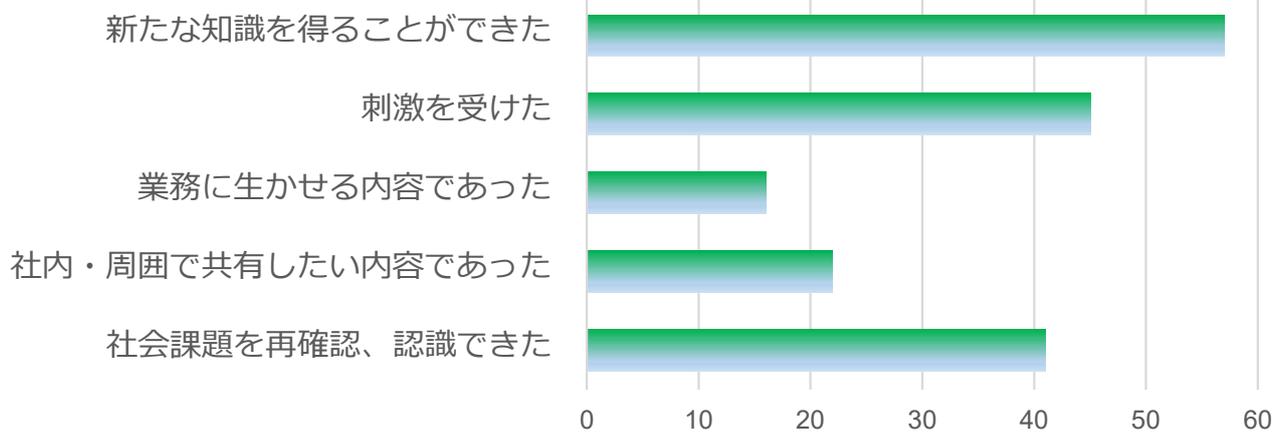
13:00 プレゼンテーション「VISION NEXT 2025 未来を創る建設コンサルタントたち」

建設コンサルタンツ協会関東支部

河村成人氏（建設コンサルタンツ協会常任委員長。パシフィックコンサルタンツ常務執行役員 兼 先端技術センター長）

吉田圭佑氏（建設コンサルタンツ協会関東支部若手の会WG主査。復建エンジニアリング）、藤馬怜央氏（建設コンサルタンツ協会関東支部若手の会WG副主査。セントラルコンサルタンツ）

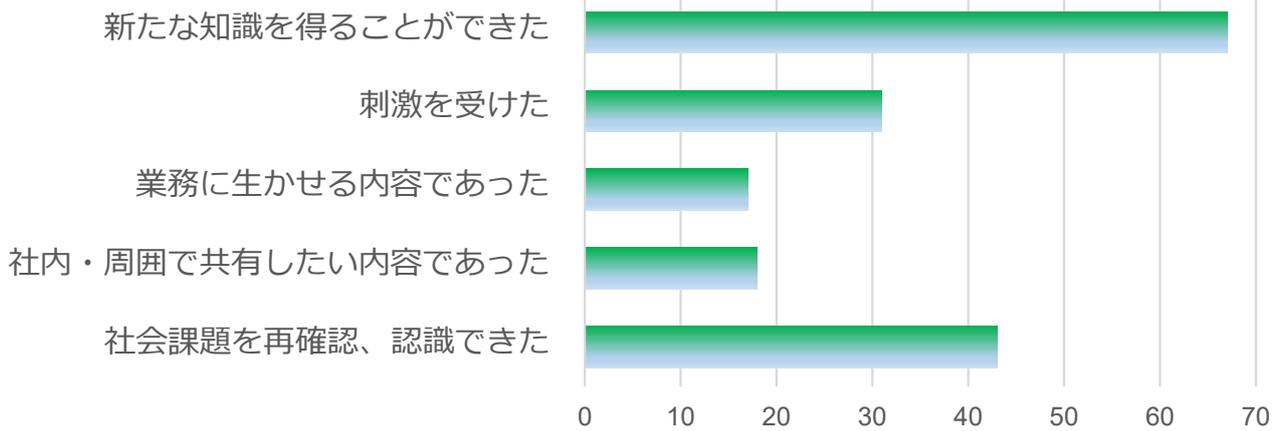
聴講者：100名



14:10 講演 「埼玉県の未来を創る県土づくり～日本一暮らしやすい埼玉を目指して～」

吉澤隆氏（埼玉県県土整備部長）

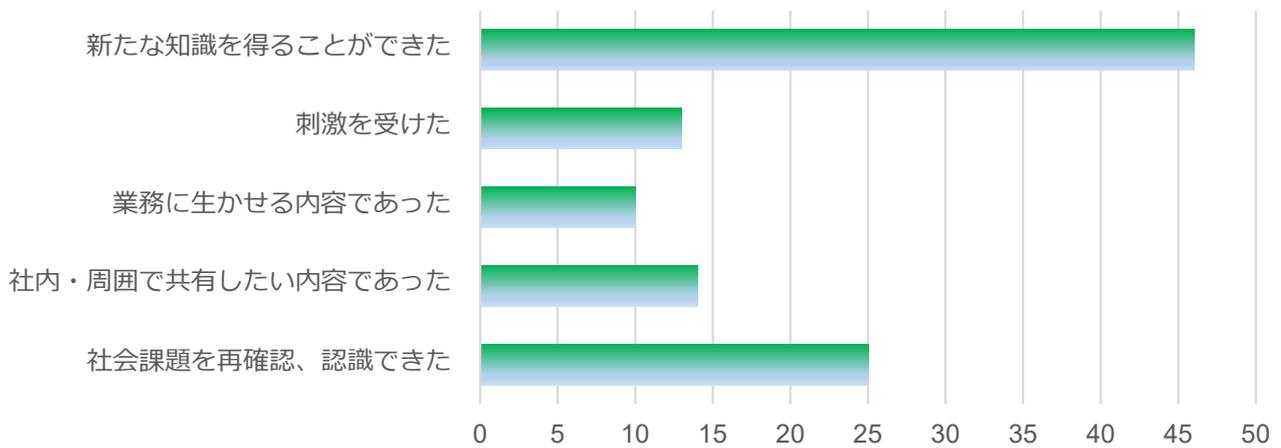
聴講者：190名



15:00 講演「WISENET2050と千葉県」

四童子隆氏（千葉県県土整備部長）

聴講者：120名



10:30 パネルディスカッション 建設産業女性定着支援ネットワーク

「現場経験のある女性技術者が語る

～建設産業の女性活躍・定着促進に向けた新実行計画の取組みへの期待～」

須田久美子氏（建設産業女性定着支援ネットワーク幹事長）

高橋典子氏（土木技術者女性の会）

大島実穂氏（日本建設業連合会けんせつ小町委員会）

阿部友美氏（土木学会DEI委員会坑内労働検討WG）

聴講者：70名



13:10 出展者プレゼンテーション① 日本工営

「防災マネジメント支援システム（Stage）」

聴講者：40名



13:50 出展者プレゼンテーション② パシフィックコンサルタンツ

「激甚災害・老朽化待ったなし！～迫り来るインフラクライシスへの対応～」

聴講者：75名



- 14:30 出展者プレゼンテーション③ 日本物理探鑛
「社会インフラの弱点を抽出する様々な地中探査のご紹介」
聴講者：60名



- 15:10 出展者プレゼンテーション④ 韓水ナテック
「韓国における中温化アスファルト技術および道路補修材ー「PCMA100」、
「マジックポケット」他ー」
聴講者：30名



- 15:50 出展者プレゼンテーション⑤ レフィクシア
「【LRTK】スマホ1台で測量・3D点群スキャン・AR投影で作業効率化」
聴講者：50名



10:30 クリエイティブ・ラボ「教育アニメ映画『未来補完計画』プロジェクト」

聴講者：50名



11:10 出展者プレゼンテーション⑥ リフリート工業会

「太平洋セメントグループの技術で実現する
持続可能なインフラメンテナンスソリューション」

聴講者：20名



11:50 出展者プレゼンテーション⑦ 人・夢・技術グループ

「3D都市モデルを活用したバーティポート設計と運航評価のデジタルシミュレーション」
聴講者：20名



14:40 パネルディスカッション

日本コンストラクション・マネジメント協会「未来をつくる私たちのマネジメント」

吉田敏明氏（日本コンストラクション・マネジメント協会会長）

江連見優氏（工学院大学）、石井万葉氏（東京理科大学大学院）、細田みゆ氏（芝浦工業大学大学院）

司会：三河一喜氏（日本CM協会CMアソシエイト・交流委員会委員長）

ファシリテーター：杉浦智也氏（日本CM協会CMアソシエイト・交流委員会）

聴講者：40名



企画展示

《パネル展示》

- ①東京都 ②神奈川県 ③埼玉県 ④千葉県
 ⑤建設産業女性定着支援ネットワーク ⑥水資源機構 ⑦日本建設業連合会関東支部
 ⑧日本道路建設業協会関東支部 ⑨建設ディレクター協会



《作品展》

- ◎土木ライター三上美絵が選ぶ「かわいい土木イラスト4人展 Part 2」
 参加イラストレーター：いとう良一、ロココ・クリエイティブ、広野りお、Leia（れいあ）
 ◎土木写真部写真展 NO DOBOKU, NO LIFE. 土木技術者による土木構造物だけの写真展



《重機でGo》



《ごっこランド》



《クリランGP》



《日刊建設工業新聞》

関東地方整備局優良工事特集、電子版PRコーナー



《アンケート抽選会》

アンケート回答者を対象とした抽選会



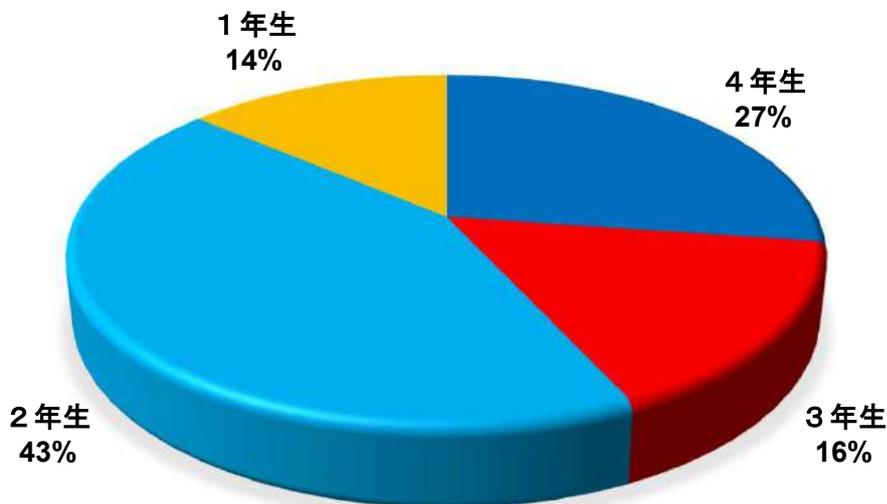
参加大学・大学院、高等専門学校、専門学校、高等学校（順不同）

日本工業大学、創価大学、芝浦工業大学大学院、横浜国立大学大学院、東京科学大学、千葉大学、奈良女子大学、広島工業大学、佐賀大学、広島工業大学大学院、桜美林大学、芝浦工業大学、大阪芸術大学、豊橋技術科学大学、慶應義塾大学、大妻女子大学、神奈川大学、東京女子大学、専修大学、東京都立大学大学院、獨協大学、青山学院大学、お茶の水女子大学、上智大学、日本大学、日本大学大学院、京都情報大学院大学、近畿大学、昭和女子大学、国土館大学、東京都市大学、東京理科大学、埼玉大学、武蔵野大学、金沢大学、愛知産業大学、金沢工業大学、大阪公立大学、神戸大学、横浜国立大学、中央大学、東京電機大学、東京電機大学大学院、東京大学、法政大学大学院、早稲田大学、東京農業大学、明治大学、工学院大学、関東学院大学、法政大学、東洋大学、東北大学、東海大学、立教大学、茨城大学

呉工業高等専門学校、東放学園映画アニメCG専門学校、千葉県立市川工業高等学校、福島県立二本松実業高等学校、兵庫県立西宮苦楽園高等学校、福岡女子商業高等学校、星の杜高等学校

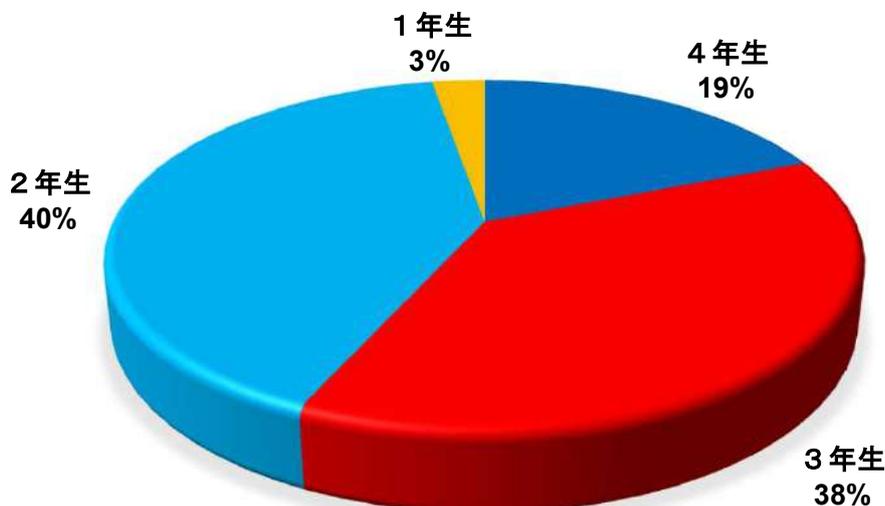
11月19日開催

《建設産業を目指す学生のための就職セミナー「現代に必要なキャリア教育とは」》参加学生



11月20日開催

《未来をつくる建設産業って、おもしろい！学生向けトークイベント》参加学生



■ 学生参加プログラム

《建設産業を目指す学生のための就職セミナー「現代に必要なキャリア教育とは」》

【日時】11月19日(水) 11:40~12:50 【会場】ステージB

【参加者】大学生・大学院生50名

【企画・運営】キャリアナビゲーション「コンキャリア」

【進行】

第1部「大学教育者・就職支援者からみた学生の現状について」

井伊博行氏(和歌山大学名誉教授)、竹内龍介氏(中央大学准教授)

田畑勇貴氏(キャリアアドバイザー)、山崎荘平氏(キャリアアドバイザー)

第2部「企業が求める人材・大学で育まれる人材にギャップはあるのか？」

佐藤徹治氏(千葉工業大学教授)、津野和宏氏(国土舘大学教授)

柴山高徳氏(東京都第一市街地整備事務所 事業課長)、岡野郊子氏(パシフィックコンサルタンツ常務執行役)



【参加者の声】

- 合同就職説明会とは別の角度から企業を知れた。
- もっとこういう交流会に参加して業界状況を常に更新したいと思った。
- 大学と企業側双方の考えを知ることができ、就活に向けて自分が心がけるべきことがわかった。
- 先生と民間企業、東京都の対面セッションを聞くのは初めて、とてもリアリティがあり参考になった。
- 普段、学術的な世界に身を置いている方の就職に関する意見を聞く機会はありませんでしたので刺激になりました。
- 就活における企業と学生とのギャップに関しては良いテーマだと感じ、大変参考となった。
- 会社に採用される人の特徴やどういう人が必要とされているのかなどをリアルに聞いた。
- セミナーを通して、自分の興味や何をやりたいことを明確化すること、学びへの意欲が大切であることが分かった。
- 就職活動の軸に懸念があるもののどのように落とし込んでいけばいいかまで具体化しきることができなかったから、一度見直すきっかけにはなった。
- 就職後のことを具体的に想像するきっかけとなりました。
- 学校では聞くことができない土木や建築に関する深い話を聞くことができたし、実際に経験した人のリアルな話を聞いた。
- 今まで、建築や土木について知らず、高校生なんか来ていいのかっていう場だったんですけど、本当にこの日本のインフラや世の中を支えているのは建設業界の方々だからこそ、もっと関心持たないと、真剣に将来決めないいけないと思いました。
- 修士課程をとることは海外で活動することにおいて信頼を得ることにつながることを知った。
- 今の建設業界の最先端の技術を知ることができた。無人化や省人化に重きを置いている。
- 興味のある企業のブースをその足のまま訪ねることが出来た事は大変良かった。
- 実際に会って話すことで、ネットでは知ることができない情報を教えてもらい、改めて興味が湧いた。
- 就職を考える上で皆さんに親身に相談に乗ってもらえて土木の新しい知識を教えていただき助かった。
- 企業の方から話を聞く機会、そしてそれを現状と照らし合わせる機会があまりないので、とても有意義であった。
- 宮崎の会社だけではなくて、日本の建設業について考える良い機会になったから。
- あまりどのような学問を専攻するか決めていないので、様々な資料をいただけて参考になった。
- 日本工営さんとお話しして、春のインターンに行けることになった。
- 私は建築を学んでいるため、土木の内容が大多数の展示は面白いことは多かったが、参考になることは多くなかったように感じた。

■ 学生参加プログラム

《未来をつくる建設産業って、おもしろい！学生向けトークイベント》

【日時】11月20日(木) 13:00~14:20 【会場】ステージB

【参加者】大学生・大学院生40名

【企画・運営】マイナビ 学生の窓口

【進行】

第1部トークセッション①「建設産業界の魅力」ひげごろー氏、デミー博士

第2部見学ツアー

1. 国土交通省関東地方整備局、西武建設・ミラテクドローン・国際航業、ヒロセホールディングス、NEXCO東日本、エイト日本技術開発

2. 国土交通省関東地方整備局、清水建設、五洋建設、日本工営・日本工営都市空間、フジタ

第3部トークセッション②「建設産業の今後の注目ポイント」

ひげごろー氏、デミー博士、日刊建設工業新聞社編集局編集部次長 片山洋志



【参加者の声】

- 建設を全く学んだことがなかったけれど、分かりやすく学生の視線からお話して下さったのがありがたかった。
- 今までは建設業は力仕事だったり大変なことばかりをイメージしていたのですが、お二方の最初に話していただいた建設業の大きいモノを作れるだったり、普段入れないようなところに入れるといった魅力など沢山新しいことを知れてよかったです。
- 大学生活で重視したほうが良いこととかを語っていただけてすごくタメになりました。
- 工事現場とかのイメージが強く、全然知らなかったので、知れてよかったです。
- 土木建設業界に携わるおふたりの話を聞いて貴重な機会になった。デミー博士が、土木建設業界のいいところは大きなモノを作れるところだとおっしゃっていて、自分の作ったモノが何十年も何人もの人に使われるというのは素敵だなと思った。
- 男性が多く専門的な知識、体力などが求められると思っていたが、男女文理問わず活躍できる業界だと知って驚いた。
- 現場仕事以外もあるんだなと思い、楽しそうでした。
- 女性も活躍していることが知れた。
- 短いながらも企業が力を入れていることについて学べ、将来について深く考えるきっかけになった。
- 実際にその企業で働いている方の声が聞ける大変貴重な機会だった。
- 色々な会社のことを知ることが出来て、その中でも現在の建設業の働きなどを知れたのでとてもよかったです。実際に企業のことをあまり見る機会がないのでとてもよい経験になりました。
- こんなにも多くの企業があることにびっくりしました。建設業は元々男性が多く関わっている仕事だと勝手に認識していたが、女性だったら若手も多く活躍されていることを知れて良かったです。
- 土木建設業界も機械化が進んで、人の力のみではないというところを学んだ。業界全体で進化しているのだと思った。
- 建設業界について興味はあったが、リアルに働いている人のお話を聞く機会がなかったので、今日聞くことができて良かったから。
- 少子高齢化や人手不足に向けた自動化やAIの採用が鍵となっているが、それに伴ってAIの方が計算を素早く正確にできたりなど、仕事を奪われる可能性も伴っていると思い、それについて気になった。
- 自分は薬学部ですが、データ系の職業につきたいと考えていたので、建設業界も1つの可能性として得ました。
- 普段大学ではプログラミングとかコンピュータのこととか学んでいて、建設とはあまり関係ないと思ったけど、結構関係があって、進路の選択肢の一つとして考えるようになりました。

■ 学生参加プログラム

《工業高校見学ツアー》

11月19日（水）

① 栃木県立那須清峰高等学校建設工学科

② 神奈川県立横須賀工業高等学校建設科

11月20日（木）

③ 栃木県立真岡工業高等学校建設科

④ 東京都立田無工科高等学校都市工学科

⑤ 栃木県立今市工業高等学校建設工学科



【プログラム名】基幹研修建設技術（初級）【後期】建設技術フォーラム

【日時】11月19日（水）

【参加者】令和7年度入職技術者88名

【進行】

13:00 オリエンテーション

13:15 ブース視察

①日本物理探鑛、新潟県、日本工営・日本工営都市空間

②NEXCO中日本、ピーエスストラククション・菱建基礎、大成建設グループ

③戸田建設、首都高速道路グループ、オリエンタルコンサルタンツHD

視察後は自由見学

15:20 建設技術フォーラム聴講

17:00 解散



【実施期間】 2025年11月19日（水）から12月26日（金）

【内 容】

- ①企業・団体の紹介ページ
- ②ステージプログラムの放映 ※11月28日（金）から12月26日（金）の間

▼トップページ



▼企業・団体の紹介ページ



▼ステージプログラムのページ



広報活動

主な掲出、配布先

- ・ 出展者はじめ共催・後援団体
- ・ 首都圏自治体
- ・ 日経コンストラクション読者（首都圏）
- ・ 関東地方整備局事務所など関係各所
- ・ 首都圏の道の駅
- ・ 小紙読者および取引先

■ A 2 ポスター

とも創る建設の未来。

入場無料

CPD/CPDS プログラム認定

アンケートにお答えいただくとオリジナルノベルティをプレゼント！

建設技術展 2025 関東

2025 11.19 WED・11.20 THU

会場 サンシャインシティ展示ホールC-D(文化会館ビル 2F-3F)

時間 10:00~17:00(最終日は16:00まで)

出展社数 190 超!! 成長につながる建設技術とサービス

事業拡大を加速する、勝ち抜くための建設情報満載!

11/19 WED **建設技術フォーラム 11.19**

11/20 THU **建設技術フォーラム 11.20**

最新情報や優れた取り組み、建設アートなど充実の展示企画も満載!

【主催】日刊建設工業新聞社

https://www.dcn.jp/keng/2025/

■ チラシ

とも創る建設の未来。建設技術展 2025 関東

2025 11.19 WED・11.20 THU 入場無料

サンシャインシティ展示ホールC-D(文化会館ビル 2F-3F) 【開催時間】10:00~17:00(最終日は16:00まで)

“任せたい”と言われる人に！信頼度を一気にアップ

CPD(19B4.7単位、20B3.9単位) / CPDS(各日2ユニット)のプログラム認定済

出展者数190超!! 成長につながる建設技術とサービスを体験できる二日間! 特別出展 国土交通省関東地方整備局

GIFT CARD アンケートにお答えいただくとオリジナルノベルティをプレゼント! さらに/サンシャインシティギフト券がゲットできるかも!

体験する! 大人も子どもも夢中になる。建設の面白さ!

見! 建設アート展覧会。次のビジネスの道を創る!

こちらの二次元コードから登録いただくとスムーズにご入場いただけます。

サンシャインシティ 文化会館ビル 2・3階

〒170-6530 東京都豊島区東池田三丁目1番4号 TEL 03-3969-3331

● 池袋駅(東武有楽町線) 徒歩約7分

● 池袋駅(山手線)徒歩約3分

● 池袋駅(有楽町線)徒歩約3分

● 池袋駅(有楽町線)徒歩約3分

● 池袋駅(有楽町線)徒歩約3分

事業拡大を加速する、勝ち抜くための建設情報満載!

11.19 WED		11.20 THU	
STAGE A (3F / 展示ホールC)	10:00	STAGE B (2F / 展示ホールD)	10:00
10:30 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	11:00	10:30 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	11:00
11:30 建設技術フォーラム 村田 啓 氏	12:00	11:30 建設技術フォーラム 村田 啓 氏	12:00
13:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	13:30	13:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	13:30
14:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	14:30	14:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	14:30
15:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	15:30	15:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	15:30
16:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	16:30	16:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	16:30
17:00		17:00	
STAGE A (3F / 展示ホールC)	10:00	STAGE B (2F / 展示ホールD)	10:00
10:30 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	11:00	10:30 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	11:00
11:30 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	12:00	11:30 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	12:00
13:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	13:30	13:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	13:30
14:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	14:30	14:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	14:30
15:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	15:30	15:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	15:30
16:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	16:30	16:00 建設技術フォーラム 高野 高直 氏	16:30
17:00		17:00	

【主催】日刊建設工業新聞社

【お問い合わせ】

〒104-0045 東京都中央区銀座6-10 日刊建設工業新聞社 事業本部 建設情報課 TEL 03-5778-4682 E-mail:keng2025@dcn.jp https://www.dcn.jp/keng/2025/



D-01 シーアーク	建設技術展2025 関東
D-02 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-03 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-04 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-05 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-06 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-07 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-08 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-09 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-10 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-11 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-12 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-13 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-14 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-15 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-16 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-17 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-18 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-19 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-20 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-21 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-22 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-23 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-24 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-25 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-26 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-27 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-28 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-29 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-30 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-31 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-32 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-33 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-34 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-35 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-36 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-37 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-38 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-39 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東

D-40 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-41 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-42 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-43 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-44 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-45 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-46 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-47 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-48 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-49 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-50 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-51 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-52 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-53 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-54 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-55 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-56 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-57 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-58 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-59 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-60 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-61 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-62 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-63 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-64 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-65 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-66 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-67 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-68 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-69 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-70 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-71 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-72 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-73 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-74 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-75 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-76 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-77 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-78 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-79 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-80 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-81 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-82 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-83 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-84 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-85 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-86 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-87 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-88 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-89 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東
D-90 建設技術展2025 関東	建設技術展2025 関東

広報活動

主な掲出先

- ・サンシャインシティ
- ・文京シビックホール
- ・大妻女子大学 千代田キャンパス
- ・共立女子大学
- ・上智大学 四谷キャンパス
- ・中央大学 後樂園キャンパス
- ・東京理科大学 神楽坂キャンパス
- ・法政大学 市ヶ谷キャンパス田町校舎
- ・法政大学 市ヶ谷キャンパス
- ・立教大学 池袋キャンパス
- ・東京藝術大学上野キャンパス
- ・学習院大学
- ・跡見女子大学
- ・宇都宮大学
- ・東京農業大学森林総合科学科
- ・東京農業大学世田谷キャンパスキャリアセンター

■ B 1 / B 2 ポスター



▲大妻女子大学

▼法政大学



◀文京シビックホール
サンシャインシティ▶



クリラン10月号
(クリエイティブ・ラボ月刊誌)

非開削技術10月号

産経新聞11月14日



広報活動

■ バナー広告



※11月28日から



Run of NIKKEIインフィード (KWターゲティング)
 期間：10月20日 (月) ~11月14日 (金)

Instagram
 期間：11月1日 (土) ~11月19日 (水)



サンシャインシティ

コンキャリ

マイナビ学生の窓口



広報活動

▼日刊建設工業新聞

・ 11月14日付「出展者紹介特集」



・ 10月28日付ほか



▽報告

・ 11月20日付



・ 11月21日付



・ 12月4日付



来場メディア

NHK、毎日新聞社、産経新聞社、日刊工業新聞社、新潮社、日経BP、日経CNBC、建通新聞社、港湾新聞社、橋梁通信社、コンクリート新聞社、環境新聞社、日本設備工業新聞社、新建新聞社、環境新聞社、産業新聞社、鉄鋼新聞社、日本金属通信社、鋼構造出版、アイティメディア、ウィルオブ・コンストラクション、マンガデザイナーズラボ

うみそらみなとby港湾新聞 11月号

建設技術展2025関東in池袋サンシャインシティ



日刊建設工業新聞社は、11月19、20日に池袋サンシャインシティにて「建設技術展2025関東」を開催しました。

特に注目されたのは、来場者が最新技術を直接体験できる次世代建設機器や技術の実演コーナー。自動化された建設機械やAIを活用したスマートシティ構築技術への関心が高まりました。

また、建設女子をテーマとした女性技術者やリーダーによる講演・パネルディスカッションも実施。女性の活躍促進に向けた取り組みに焦点が当てられました。

クリランTIMES 2025.12.5 (クリエイティブ・ラボ メールマガジン)



CREATIVE LAND

【イベントレポート】安井南テーブカット！ラボ社ラジコン体験&トークショー！建設技術展2025関東

CREATIVE LAB イベントレポート

ともに創る建設の未来。

建設技術展2025関東

2025.11.19(水)・20(木)

安井南 テーブカット！
ラボ社 重機ラジコン体験 & 『未来補完計画』トークショー

週刊新潮 (12月25日発売)

「建設技術展2025関東」
16,000人を超える盛況ぶり

「建設技術展2025関東」(日刊建設工業新聞主催)が11月19日(水)、20日(木)に開催され、産・官・学の建設関係者や建設分野を専攻する学生など16,100人が集まった。本展は、国土交通省関東地方整備局の協力を得て開催する建設技術の見本市。最新の技術や工法・製品などを扱う建設関係の企業や団体が集まり、213ブースが並んだ。19日(水)は会場内で、関東地方整備局主催の「建設技術フォーラム」を併催。また、特設ステージでは両日ともにさまざまな講演が行われ、東京都、埼玉県、千葉県、中日本高速道路会社の幹部らが登壇した。この他にもコンキヤリとマイナビによる学生向けイベントや、子どもが楽しめる「重機でGO」「ごっこランド」などの体験コーナーもあり、盛況の2日間となった。



注目技術賞

会場来場者とオンライン参加者による投票結果をもとに、1月26日の審査委員会で選考し、次の通りに決定、発表特集を2月24日に掲載しました。

- 最優秀賞「シミズ・スマート・トンネル」(清水建設)
- 優秀賞「アクアトル」(高洋商会)
- 特別賞「カ触覚フィードバックによる遠隔岩判定」(竹中土木)
- 「PONTOS」(りんかい日産建設)
- 「T-eConcrete」(大成建設)

《審査委員》

- 佐藤直良氏 (元国土交通省事務次官、建設業技術者センター理事長) ※委員長
- 杉山太宏氏 (土木学会関東支部長、東海大学学長室部長・建築都市学部土木工学科教授)
- 齊藤武文氏 (日本建設業連合会関東支部技術調査委員長、清水建設専務執行役員土木東京支店長)
- 福岡知久氏 (建設コンサルタント協会関東支部長、日本工営社長)
- 田中克直氏 (国土交通省関東地方整備局企画部長)
- 坂川博志 日刊建設工業新聞社専務取締役事業本部長

▼2月24日付 1面記事と発表特集



注目技術賞

(優秀特別) 5件を選定

建設技術展2025関東 日刊建設工業新聞社主催

最優秀賞 清水建設

次世代型トンネル構築システム「シミズ・スマート・トンネル」

【製品説明】
トンネル施工システムとして実用化が進んでいる。従来のコンクリートトンネル構築システムと比較して、コンクリートの使用量を削減し、工期を短縮できる。また、トンネルの断面形状を自由に設定できる。さらに、トンネルの断面形状を自由に設定できる。さらに、トンネルの断面形状を自由に設定できる。

優秀賞 高洋商会

ボード型透水コンクリート型枠「アクアトル」

【製品説明】
コンクリート型枠に水を透過させることができる。コンクリート型枠に水を透過させることができる。コンクリート型枠に水を透過させることができる。コンクリート型枠に水を透過させることができる。

特別賞 竹中土木

カ触覚フィードバックによる遠隔岩判定

【製品説明】
遠隔地から岩盤の状態をリアルタイムで把握できる。遠隔地から岩盤の状態をリアルタイムで把握できる。遠隔地から岩盤の状態をリアルタイムで把握できる。遠隔地から岩盤の状態をリアルタイムで把握できる。

特別賞 りんかい日産建設

PONTOS

【製品説明】
トンネルの断面形状を自由に設定できる。トンネルの断面形状を自由に設定できる。トンネルの断面形状を自由に設定できる。トンネルの断面形状を自由に設定できる。

大成建設

環境配慮型コンクリート「T-eConcrete」

【製品説明】
CO2排出量を削減できるコンクリート。CO2排出量を削減できるコンクリート。CO2排出量を削減できるコンクリート。CO2排出量を削減できるコンクリート。

会場・オンライン投票で19技術が候補に

先進性、効果、活用性を評価



技術展の「注目技術賞」に5件

日刊建設工業新聞社主催の「建設技術展2025関東」で、出展技術から選んだ注目技術賞5件が決まった。最優秀は清水建設。 8面

4月から出展者募集開始

日時 2026年 10月20日(火)・21日(水)

10:00-17:00 10:00-16:00

会場 サンシャインシティ 展示ホールB+C+D (東京都豊島区東池袋3-1-4)

主催:日刊建設工業新聞社

お問い合わせ 日刊建設工業新聞社 事業本部 建設技術展担当 E-mail kengi2026@decn.co.jp

C-XROSS 2025

Construction Xross 2025

建設技術展2025 関東